

弘前大学ボランティアセンター活動報告会・研究報告会

東日本 大震災からの 地域復興を 考える

参加料
無料

市民・学生
行政関係者・教員
※申込不要



3月10日(火)

弘前市民文化交流館ホール

弘前市駅前町 ヒロコ4F ヒロコ駐車場利用の場合は3時間無料です。

第1部 14:00～16:15

第2部 16:30～17:30

第3部 17:45～19:25

※いずれかの部のみの参加も可能です

主催／弘前大学ボランティアセンター

共催／弘前市・弘前大学人文学部

お問い合わせ

弘前大学ボランティアセンター（平日10:00～15:00）

〒036-8560 青森県弘前市文京町1 TEL 0172-39-3268 FAX 0172-34-5251 E-mail hvuc@cc.hirosaki-u.ac.jp URL <http://hvuc.net/>

東日本大震災からの地域復興を考える

事業目的

未曾有の被害をもたらした東日本大震災から4年の時が経過しました。震災の記憶が風化する中、復興の足音はまだまだ遠い現実です。弘前大学ボランティアセンターでは、発災直後から岩手県野田村での支援・交流活動を継続してきました。また、支援活動の一環として本学の李永俊教員を代表とする研究グループでは生活の質(QOL)を重視した復興政策に関する研究活動を展開してきました。本事業では、各国の災害への対応や災害から復興を成しとげた先行事例を学び、これからの災害対策や復興政策作りに活かしていくことと、これまでの支援・交流活動を振り返り、これからの活動のあり方を模索することを目的に実施します。東日本大震災からの復興を参加者の皆さまと一緒に考える場になることを祈念いたします。皆さまのご参加をお待ちしております。

第1部

東日本大震災からの地域復興を考える研究シンポジウム

司会: 李 永俊 (弘前大学人文学部教授)

※通訳あり

14:00~14:05 開催の挨拶

14:05~15:00 第1報告 「Warning Systems for Earthquakes in Japan and the US」

James D.Goltz Ph.D.

(Branch Chief, Earthquake, Tsunami and Volcanic Hazards Program California Governor's Office of Emergency Services)

15:00~15:55 第2報告 「"Community Governance for Disaster Recovery and Resilience: Four Case Studies in the Philippines."」

Ebinez R.Florano Ph.D.

(Director Center for Policy and Executive Development, Assistant Professor National College of Public Administration and Governance University of the Philippines)

15:55~16:15 質疑応答

16:15~16:30 休憩

第2部

弘前大学ボランティアセンター活動報告会

司会: 平野 潔 (弘前大学人文学部准教授)

16:30~16:35 開催の挨拶

16:35~16:40 来賓の挨拶

16:40~17:10 野田村 「野田村における地域見守り・交流活動」

活動報告①

永田 素彦氏 (京都大学大学院人間・環境学研究科教授)

17:10~17:30 野田村 「チーム・オール弘前の一年 ~明日へ一緒に歩む~」

活動報告②

学生事務局・赤石 敏子氏 (弘前市民)

17:30~17:45 休憩

第3部

第4回市民ボランティア講座 ワークショップ

司会: 日比野 愛子 (弘前大学人文学部講師)

17:45~17:50 開催の挨拶

17:50~19:20 ワークショップ 「どうする? これからの支援・交流活動について」

19:20~19:25 閉会の挨拶

※第1部は、科学研究費補助金(基盤研究(A)「北リアスにおけるQOLを重視した災害復興政策研究—社会・経済・法的アプローチ」(USPS科研費24243056・研究代表者 李永俊)の助成を受けて実施するものです。